

船舶事故調査報告書

平成28年7月28日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成27年4月7日 11時05分ごろ（現地時間）
発生場所	オーストラリア連邦ポートウォルコット4号岸壁 （概位 南緯20°34.5′ 東経117°12.2′）
事故の概要	ばら積み貨物船CAPE ROSAは、着岸中、また、引船KASHIMAは、CAPE ROSAに接近中、両船が衝突した。 CAPE ROSAは、左舷船尾部外板に曲損等を生じた。
事故調査の経過	平成27年6月19日、調査を担当する主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済み
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A ばら積み貨物船 CAPE ROSA、102,132トン 141697、川崎汽船株式会社 B 引船 KASHIMA、499トン 9635896（IMO番号）、ROBE RIVER MINING COPTY LTD
乗組員等に関する情報	A 船長A（フィリピン共和国籍）、締約国資格受有者承認証 船長 （日本国発給） B 船長B（国籍不詳）、免状不詳
負傷者	なし
損傷	A 左舷船尾部外板に曲損等 B なし
気象・海象	気象：不詳 海象：潮汐 上げ潮の末期
事故の経過	A船は、着岸していたところ、船尾に衝撃を感じ、B船と衝突したことを知った。 B船は、A船に接近中、A船の左舷船尾部に衝突した。
分析	A船は、着岸中、B船が衝突したものと考えられる。 B船は、着岸中のA船に接近中、A船と衝突したものと考えられるが、船長Bから情報が得られなかったため、衝突に至った状況を明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、A船が着岸中、B船がA船に接近中、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。